

「学校と地域で育む男女共同参画」のご案内

ご家庭での取組のお願い

将来のあらゆる選択肢について子供が自由な希望を抱くことができるようにするため、文部科学省では、無意識の思い込み・固定的な性別役割分担意識の解消に向けた取組を推進しております。

■ 保護者のみなさまへのお願い

- この資料では、男女共同参画社会における大切な考え方について、簡単に紹介しています。男女共同参画についてご理解いただくとともに、この機会に、ご家庭内でお子さんと話し合いの場を設けたり、お子さんへの普段の声掛けについて振り返ったりしてみてください。
- 文部科学省ホームページにおいて教材や家庭学習資料を公開していますので、ご家庭での学習にご活用ください。（裏面参照）

身近なところにも男女共同参画が関わっています

■ 無意識の思い込み

(アンコンシャス・バイアス)

誰もが潜在的に思い込みを持っています。育つ環境、所属する集団の中で無意識のうちに脳にきざみこまれ、既成概念、固定観念となっていくます。

例えば 男／女なんだから〇〇しなさい

男／女は〇〇してはいけない

と言われたことや、言ったことはありますか？



■ 固定的な性別役割分担意識

男女を問わず個人の能力等によって役割の分担を決めることが妥当であるにもかかわらず、「男は仕事・女は家庭」、「男性は主要な業務・女性は補助的業務」等のように、男性、女性という性別を理由として、役割を固定的に分ける考え方があります。

例えば 〇〇は男／女の役割だ

〇〇は男／女がすべきことではない

と言われたり、思ったりしたことはありますか？



無意識の思い込み・固定的な性別役割分担意識の解消はなぜ必要なの？

性別を理由に自らの意欲・能力が十分に活かせず、幸福が感じられないといった状況が生じないよう、無意識の思い込みや固定的な性別役割分担意識、性差別意識のない社会を実現することが大切です。

大人の無意識の思い込みや固定的な性別役割分担意識に基づく何気ない言動が、子供の男女共同参画への意識や、進路・生き方等に影響を与える可能性があります。性別にかかわらず、一人一人の子供が能力や個性を發揮できるような社会にすることが大切です。

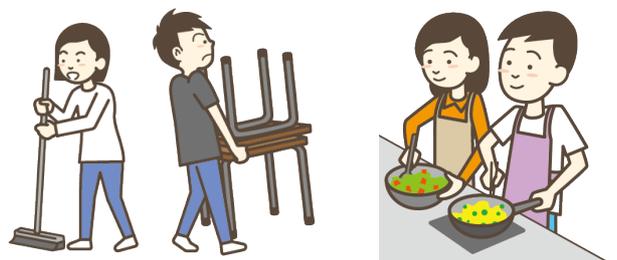
男女共同参画の促進に向けてできること

男女共同参画社会は、一人一人の人権が尊重され、すべての人が自分らしく生きられる社会です。大人も子供も、一人一人が意識し行動することで、身近なところから男女共同参画を進めていくことが可能です。

自他を大切にし、
相手の気持ちや個性を尊重しましょう



性別に関係なく協力しましょう



「学校と地域で育む男女共同参画」教材一覧

小・中学生を対象に、男女の尊重や自分を大事にするとの理解、固定的な性別役割分担意識解消の理解を深める教材及び指導の手引き等を作成しております。

小学生向け家庭学習資料例

おうちのしごとは、だれがしていますか？

おうちのしごと	おうちのしごとをしている人
おさがんをつくる	
ばんごんをつくる	
おさらをあらう	
そうじ	
せんたく	
ごみをだす	
こどもにべんきようをおしえる	

① まずは、学校でどのようなことを学んだかお父さんに聞いてみましょう。
 ② ご家庭での役割がどうなっているか、お父さんと話し合ってみてください。
 ③ お父さんが好きなことや、将来（これから）やりたいことについて、聞いてみてください。また、なぜそのように考えているのかも聞いてみてください。

保護者向け啓発資料（小学生）例

「学校と地域で育む男女共同参画」のご案内
 教育内容の紹介と、ご家庭での取組のお願い

男女共同参画を進めることによって、すべての人の権利が尊重され、性別にかかわらず個人の個性と能力を発揮できる、多様性に富んだ社会を実現することができます。このたび、全国の小学校において、男女共同参画の促進に向けた教育を推進することになりました。

■保護者のみなさまへのお問い合わせ
 ・この資料では、教育の現場や、男女共同参画に関する情報を、図表を交えながらわかりやすく紹介しています。ぜひご家庭でご覧いただき、本教育や男女共同参画についてご理解いただけますようお願いいたします。
 ・お子さんとの話し合いや、体験学習なども合わせてください。（詳細はP.4参照）

男女共同参画促進に向けた教育の概要

教育の経緯
 ・令和2年に閣議決定された「第5次男女共同参画基本計画」において、固定的な性別役割分担意識や性別に関する偏見・固定観念は、従ってして年少の頃から長年により形成されてきており、女性と男性のいずれにも存在すると認識されています。
 ・こうした意識や偏見等の解消に向けて、各学校において、男女の個性の尊重や自他を大切にすることの理解、固定的な性別役割分担意識解消の理解を深めるための教材を作成しました。

教育の内容
 ① 自他を大切にすること
 「男性/女性はこうあるべき」という思い込みが社会のあらゆる場面に存在していることや、自他を大切にすることを学びます。
 ② 女性の個性の尊重
 性別にかかわらず、一人一人の個性や能力を認め合うことの大切さを学びます。
 ③ 固定的な性別役割分担意識の解消
 社会には性別を理由に期待されている役割分担意識が存在していることを理解した上で、その意識にとらわれず一人一人ができることを学びます。

コラム 「生命（いのち）の安全教育」のご紹介
 望まない性的行為は、性的な暴力にあたります。性暴力は、被害者の尊厳を著しく傷みにする行為であり、その心身に長期的に及び重大な被害をもたらすもので、性暴力の根絶は待ったなしの課題です。令和2年に閣議で決定された「性犯罪・性暴力対策の強化の方針」を踏まえ、全国の学校等において「生命（いのち）の安全教育」を推進することになりました。この教材では、生命の尊厳を学び、性別や能力に起因する偏見や差別、性暴力が及ぼす影響等を正しく理解し、生命を大切にすることを考え、自分や相手、一人一人を大切にすることを願っています。

※別途、中学生版もあります

小学生（低学年）向け教材例

「おんなのこ／おとこのこだから〇〇しなさい、〇〇してはいけない」といわれたことはありますか？

小学生（中学年）向け教材例

みんないろいろな考えがあるよね

野球を習ってみたいな！

くまのぬいぐるみで遊びたいな！

りょうりをうまく作れるようになりたいな！

小学生（高学年）向け教材例

この2つのグラフから分かることはありますか？

仕事を持つ女性の割合の移り変わり

年齢	昭和55(1980)年	平成12(2000)年	令和2(2020)年
15	10	10	10
20	20	20	20
25	30	30	30
30	40	40	40
35	50	50	50
40	60	60	60
45	70	70	70
50	80	80	80
55	85	85	85
60	80	80	80
65	70	70	70
70	60	60	60

両親がともに働いている家庭の数と母親がせん業主婦の家庭の数の移り変わり

年齢	昭和55年(1980)	平成12年(1998)	2008	2018(令和2)
500	500	500	500	500
600	600	600	600	600
700	700	700	700	700
800	800	800	800	800
900	900	900	900	900
1000	1000	1000	1000	1000
1100	1100	1100	1100	1100
1200	1200	1200	1200	1200

中学生向け教材例

考えてみよう！

性別による固定的な役割分担意識

社会には、「男は仕事、女は家庭」のように性別を理由に期待されているさまざまな役割分担が存在します。地域や社会で、性別を理由に期待されているものにはどのようなものがあるか考えてみよう。

学校で

家庭で

地域や社会で

各段階の教材等は、下記のサイトよりダウンロードできます。

文部科学省ホームページ「学校と地域で育む男女共同参画の促進」
https://www.mext.go.jp/a_menu/ikusei/kyoudou/detail/1376840_00004.htm

